

ACC クリエイティブイノベーション部門  
審査委員長メッセージおよび、審査委員紹介

■審査委員長

暦本 純一（東京大学 教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長）



【審査委員長メッセージ】

■二次審査の感想

第1回目ということで、「イノベーションとは何か」、「この賞は何を評価するか」という議論がありました。イノベーションの賞なので、一つは「新規性」新しいかどうか、次に「有効性」役に立つかどうか。あとはそれが社会に根付くか、未来を創れるようなポテンシャルを持っているか、というところを主に審査させて頂きました。

我々の予測を超える、非常に多様な、そして多数のエントリーがあり、レベルの高い審査が出来たと感じています。

■最終審査進出チームへの応援メッセージ

未来をちゃんと作れるようなものなのか、をみんなに分かるように説明して頂きたい。最終審査会を通じて、描く夢を共有したいと思っています。あとは、ソリッドなイノベーション、テクノロジーがちゃんとあるという部分をきちんと伝えて頂けたらと思います。

■審査委員

安宅 和人（ヤフー／CSO（チーフストラテジーオフィサー））

池澤 あやか（タレント／クリエイター）

稲田 雅彦（カブク／代表取締役 CEO）

井上 裕太（\QUANTUM／Startup Studio 事業責任者）

佐々木 紀彦（ニュースピックス／編集長、取締役）

佐々木 康晴（電通／第4CR プランニング局長、デジタル・クリエイティブ・センター長、  
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

鈴木 雅穂（トヨタ自動車／未来プロジェクト室 室長）

野添 剛士（SIX／クリエイティブディレクター、代表取締役）

深田 昌則（パナソニック／アプライアンス社 Game Changer Catapult 代表）

朴 正義（バスキュール／代表取締役、クリエイティブディレクター）

森岡 東洋志（ワン・トゥー・テン・ドライブ／CTO、テクニカルディレクター）

以上